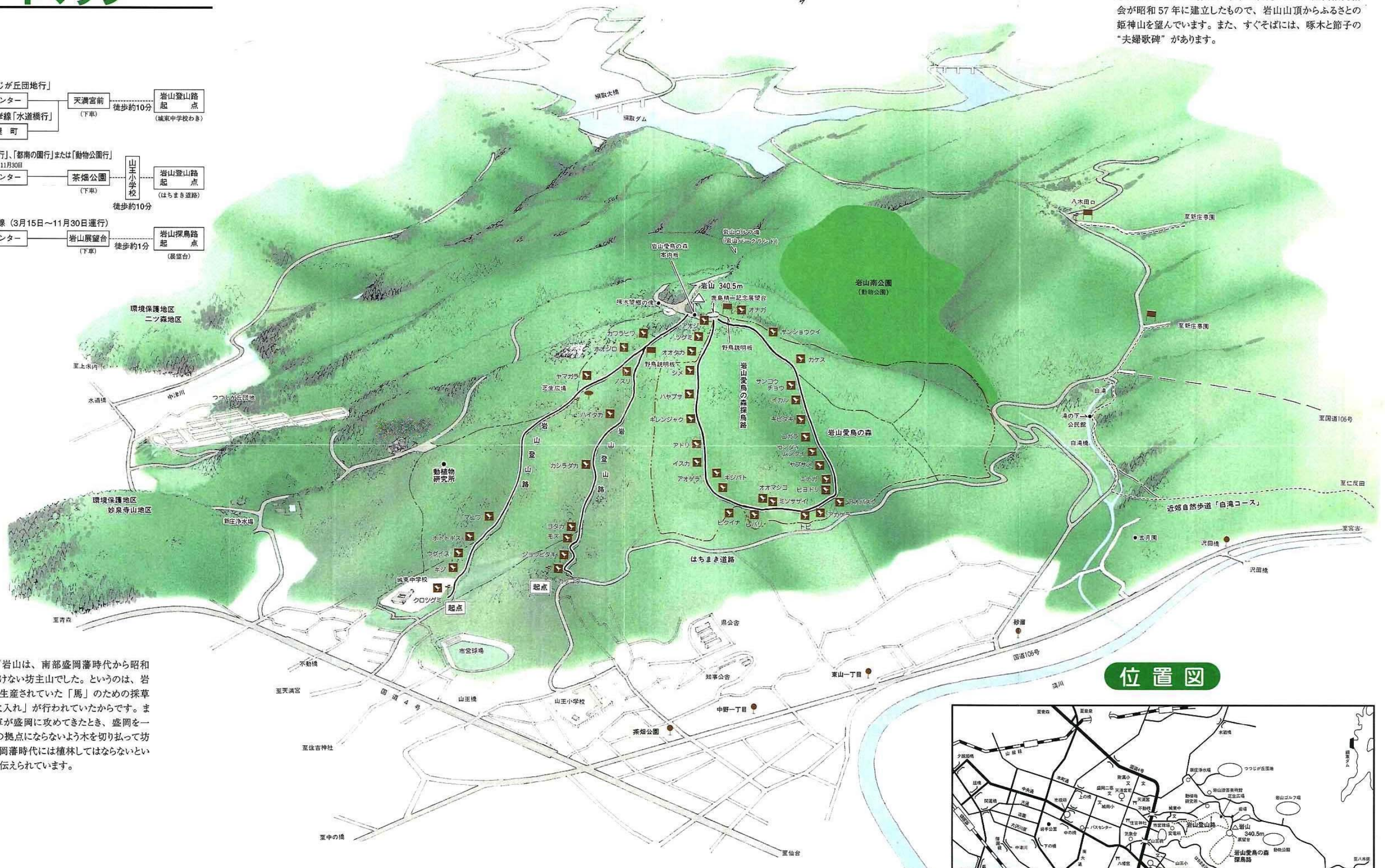
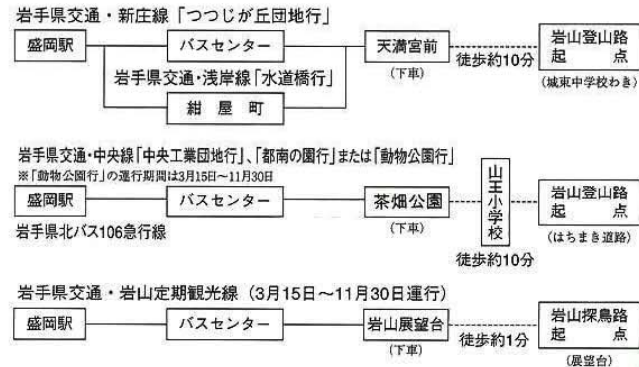


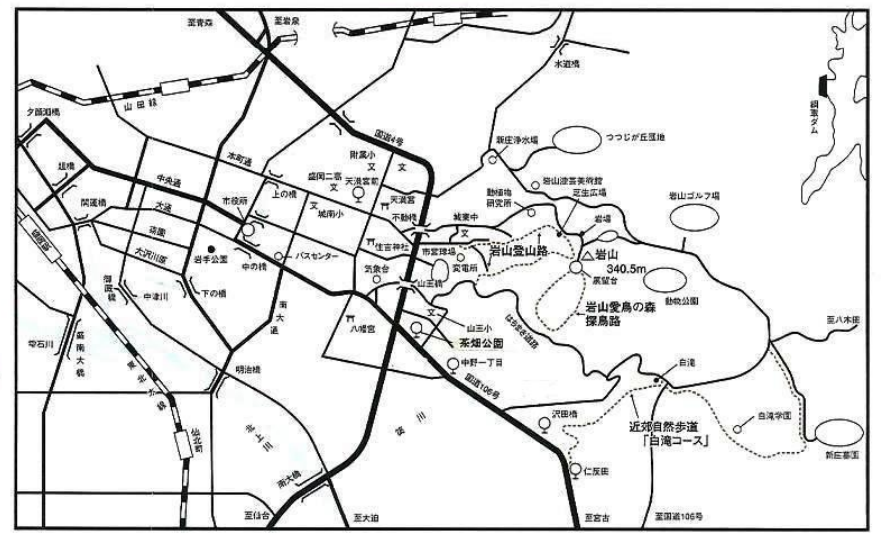
近郊自然歩道 岩山散策路

ルートマップ

交通機関



位置図



●坊主山だった岩山／岩山は、南部盛岡藩時代から昭和20年代まで木を植え付けけない坊主山でした。というのは、岩山はもともと当時盛んに生産されていた「馬」のための採草地で、毎年早春に「火入れ」が行われていたからです。また、岩山は万が一敵軍が盛岡に攻めてきたとき、盛岡を一望できるこの山が敵軍の拠点にならないよう木を切り払って坊主山とし、以後南部盛岡藩時代には植林してはならないという「きまり」があったとも伝えられています。

凡例



●啄木望郷の像 (作者：照井 栄) / 明治18年、玉山村に生まれた望郷の歌人石川啄木は、波乱に富んだ短い人生のうち、夢多き頃の10余年を盛岡で過ごしました。明治45年に啄木が東京で、その翌年には妻節子が函館で永眠しました。この像は、啄木の鎮魂のために盛岡観光協会が昭和57年に建立したもので、岩山山頂からふるさとの姫神山を望んでいます。また、すぐそばには、啄木と節子の“夫婦歌碑”があります。